

鋁工業指數參考図表集
(2020年10月速報)

2020年11月30日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2020年10月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

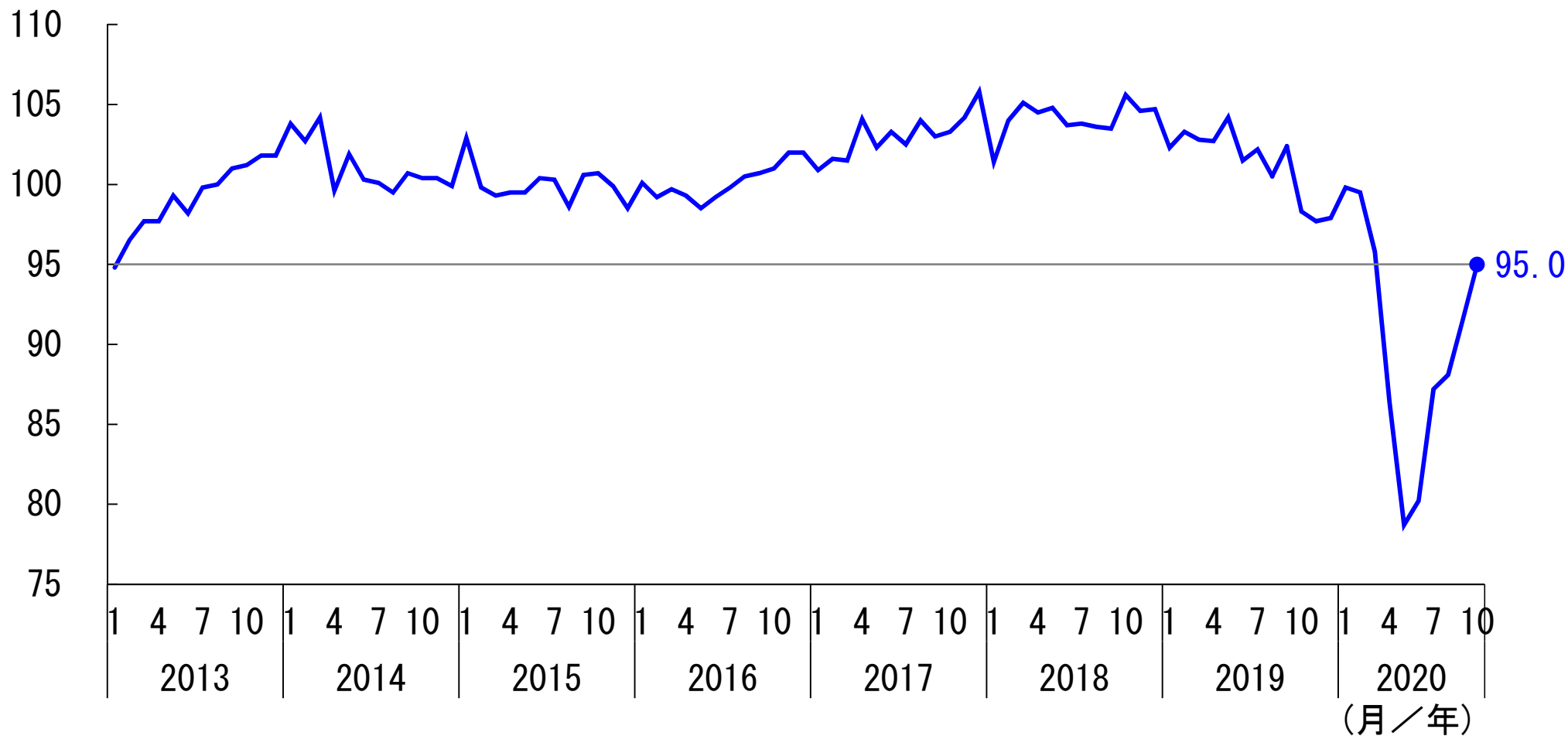
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	95.0	94.7	95.9	114.3
前月比	3.8%	4.6%	-1.6%	-3.0%
指数水準	2020. 3 95. 8以来 I 2017. 12 105. 8 II 2018. 10 105. 6 III 2018. 3 105. 1	2020. 2 98. 9以来 I 2014. 3 105. 7 II 2017. 12 105. 4 III 2014. 1, 2018. 4, 10 104. 4	2014. 3 95. 3以来 ①2014. 3 95. 3 ②2013. 11 95. 6 ③2020. 10 95. 9	2020. 2 112. 5以来 ①2014. 3 89. 1 ②2013. 11 90. 8 ③2014. 1 91. 8
前月比の動き	5か月連続+ (2020.6~当月)	5か月連続+ (2020.6~当月)	7か月連続- (2020.4~当月)	5か月連続- (2020.6~当月)
前月比幅	2020. 9 3. 9%以来 I 2020. 7 8. 7% II 2020. 9 3. 9% III 2020. 10 3. 8%	2020. 7 6. 6%以来 I 2020. 7 6. 6% II 2020. 6 4. 8% III 2020. 10 4. 6%	2020. 6 -2. 4%以来 ①2020. 5 -2. 6% ②2020. 6 -2. 4% ③2013. 11 -2. 2%	2020. 9 -4. 4%以来 ①2020. 7 -8. 9% ②2020. 6 -7. 1% ③2014. 3, 2020. 9 -4. 4%
前年同月比(原指数)	-3.2%(97.2)	-3.2%(95.8)	-7.9%(96.3)	-0.5%(112.2)
前年同月比の動き	13か月連続- (2019.10~当月)	13か月連続- (2019.10~当月)	6か月連続- (2020.5~当月)	23か月ぶり- (2018.11以来)
前年同月比幅	2020. 9 -9. 0%以来 ①2020. 5 -26. 3% ②2020. 6 -18. 2% ③2020. 7 -15. 5%	2020. 9 -9. 8%以来 ①2020. 5 -26. 8% ②2020. 4, 6, 7 -16. 6% ③2020. 8 -14. 2%	2015年基準最低水準 ①2020. 10 -7. 9% ②2020. 8 -5. 9% ③2020. 9 -5. 7%	2018. 11 -0. 5%以来 (超)2018. 10 -1. 5%以来 ①2014. 1 -10. 5% ②2014. 3 -9. 5% ③2014. 2 -7. 7%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉍工業生産指数の動向

・ 2020年10月の鉍工業生産指数は、95.0(前月比3.8%)と5か月連続の上昇。

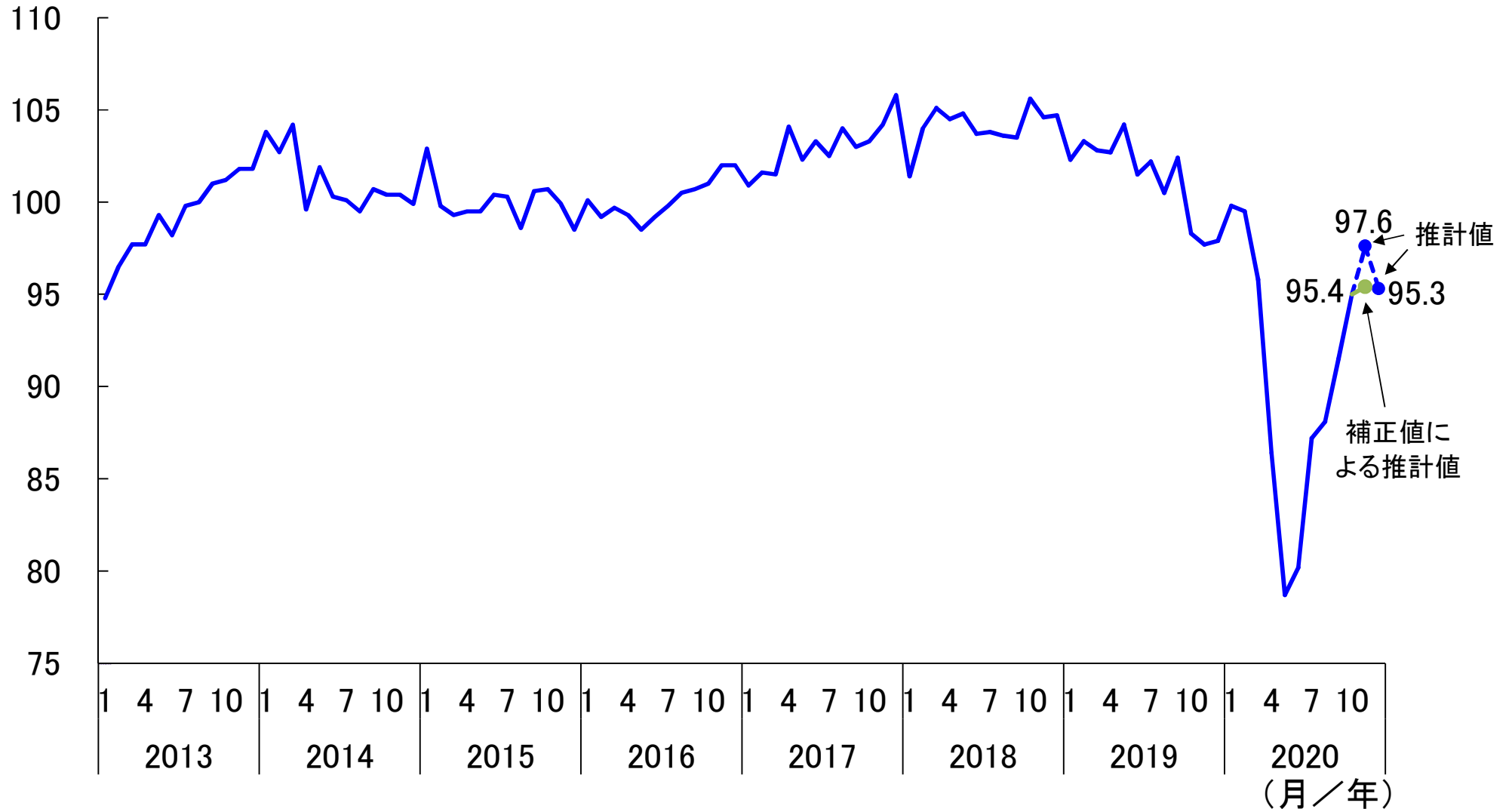
(2015年=100、季節調整済)



(注) 鉍工業指数 (IIP) とは、月々の鉍工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鉍工業全体の動きを示す代表的な指標。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(2015年=100、季節調整済)



(注) 補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したものです。

2020年10月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っぱり張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	汎用・業務用機械工業	17.9%	30.2%
	品目	運搬装置	79.3%	13.6%
		ボイラ・原動機	62.4%	9.0%
	2位の業種	自動車工業	6.8%	29.6%
	品目	乗用車	6.4%	13.9%
		車体・自動車部品	5.8%	10.0%
3位の業種	電気・情報通信機械工業	8.4%	17.7%	
品目	電子計算機	33.3%	4.9%	
	電子応用装置	63.6%	4.1%	
鉱工業生産を低下方向へ引っぱり張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	-5.2%	-8.8%
	品目	集積回路	-9.6%	-7.2%
		電子デバイス	-13.9%	-3.0%
	2位の業種	輸送機械工業（除. 自動車工業）	-9.9%	-5.8%
	品目	航空機部品	-25.6%	-5.4%
		船舶・同機関	-4.1%	-1.2%
3位の業種	化学工業（除. 無機・有機化学工業・医薬品）	-2.1%	-2.4%	
品目	洗剤・界面活性剤	-7.9%	-2.8%	
	化粧品	-0.4%	-0.2%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注) 全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

2020年10月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	6.4%	13.9%
	2位	運搬装置	79.3%	13.6%
	3位	車体・自動車部品	5.8%	10.0%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	集積回路	-9.6%	-7.2%
	2位	航空機部品	-25.6%	-5.4%
	3位	電子デバイス	-13.9%	-3.0%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送用)	13.6%	43.8%
		コンベヤ	178.6%	10.5%
		一般用蒸気タービン	1,822.5%	5.4%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.6%	33.9%
		駆動伝導・操縦装置部品	4.5%	2.6%
		混成集積回路	20.4%	2.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	5.2%	13.0%
		普通乗用車	6.3%	9.0%
		ノート型パソコン	43.8%	2.0%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	4.6%	6.7%
		橋りょう	71.7%	1.9%
		セメント	12.2%	1.7%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-2.4%	-12.3%
		日焼け止め・日焼け用化粧品	-50.8%	-3.6%
		合成洗剤	-13.2%	-1.9%

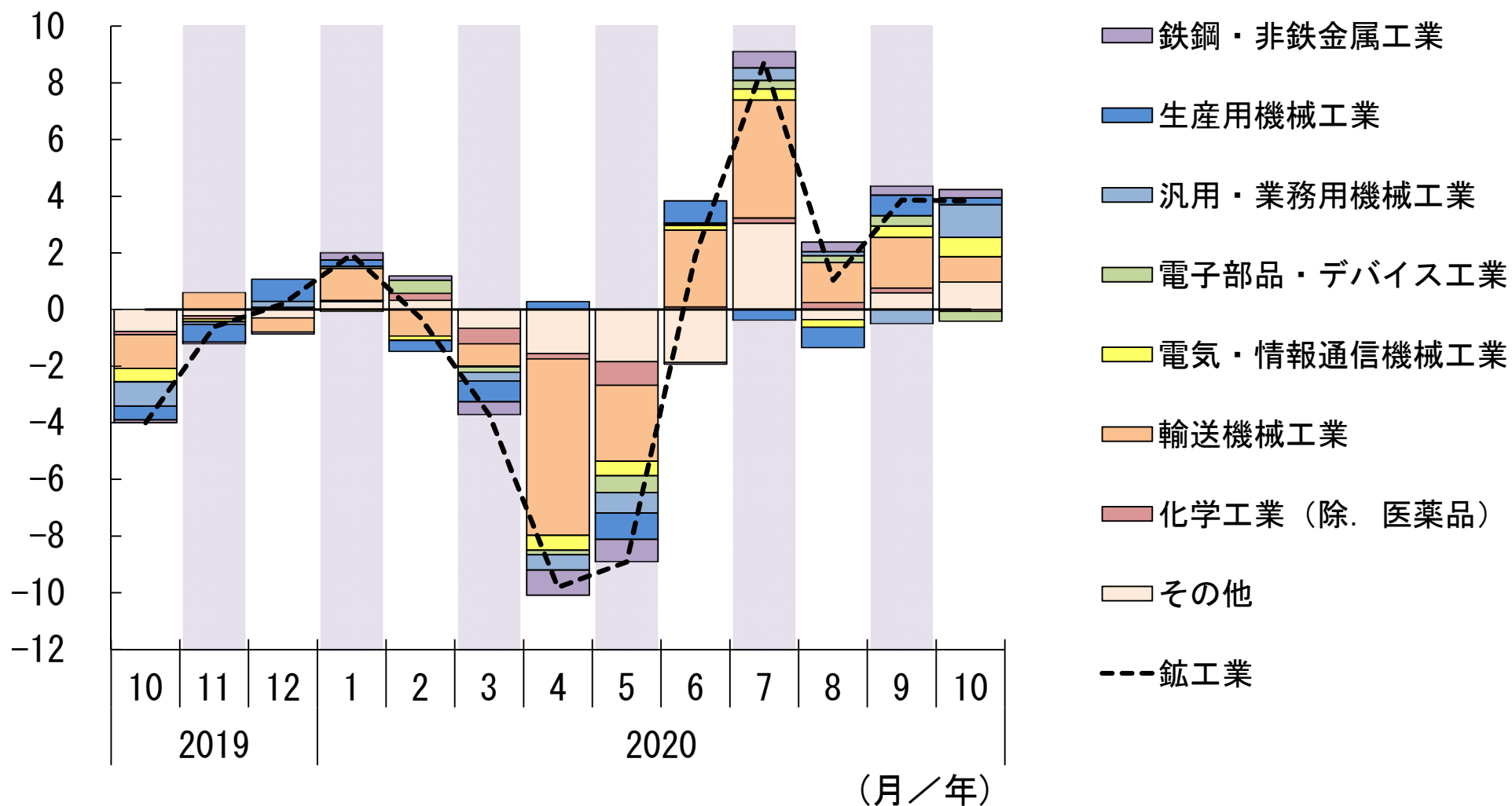
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

・2020年10月の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが低下したものの、汎用・業務用機械工業などが上昇したため、前月比3.8%の上昇。

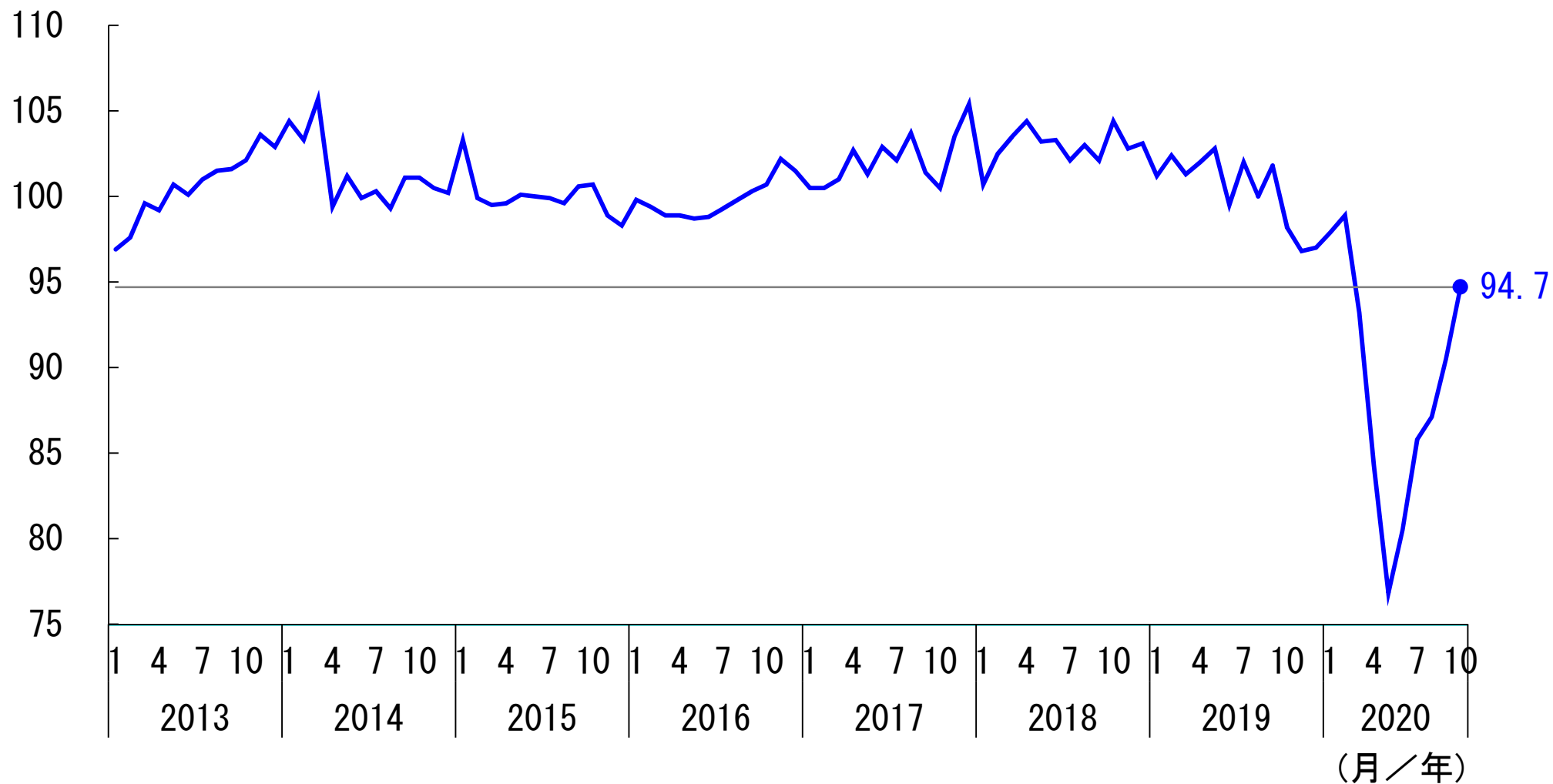
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鉍工業出荷指数の動向

・ 2020年10月の鉍工業出荷指数は、94.7(前月比4.6%)と5か月連続の上昇。

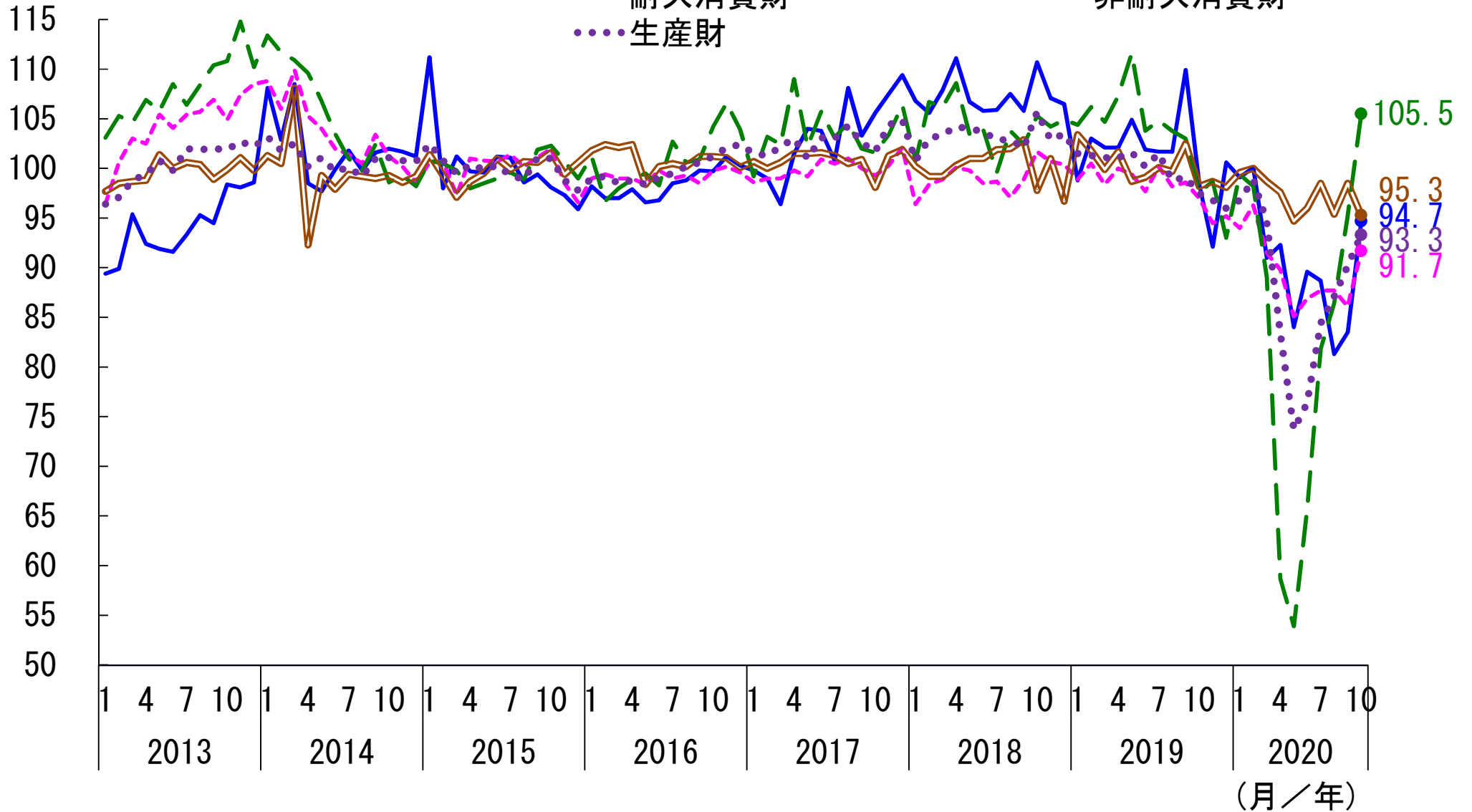
(2015年=100、季節調整済)



財別出荷指数の動向

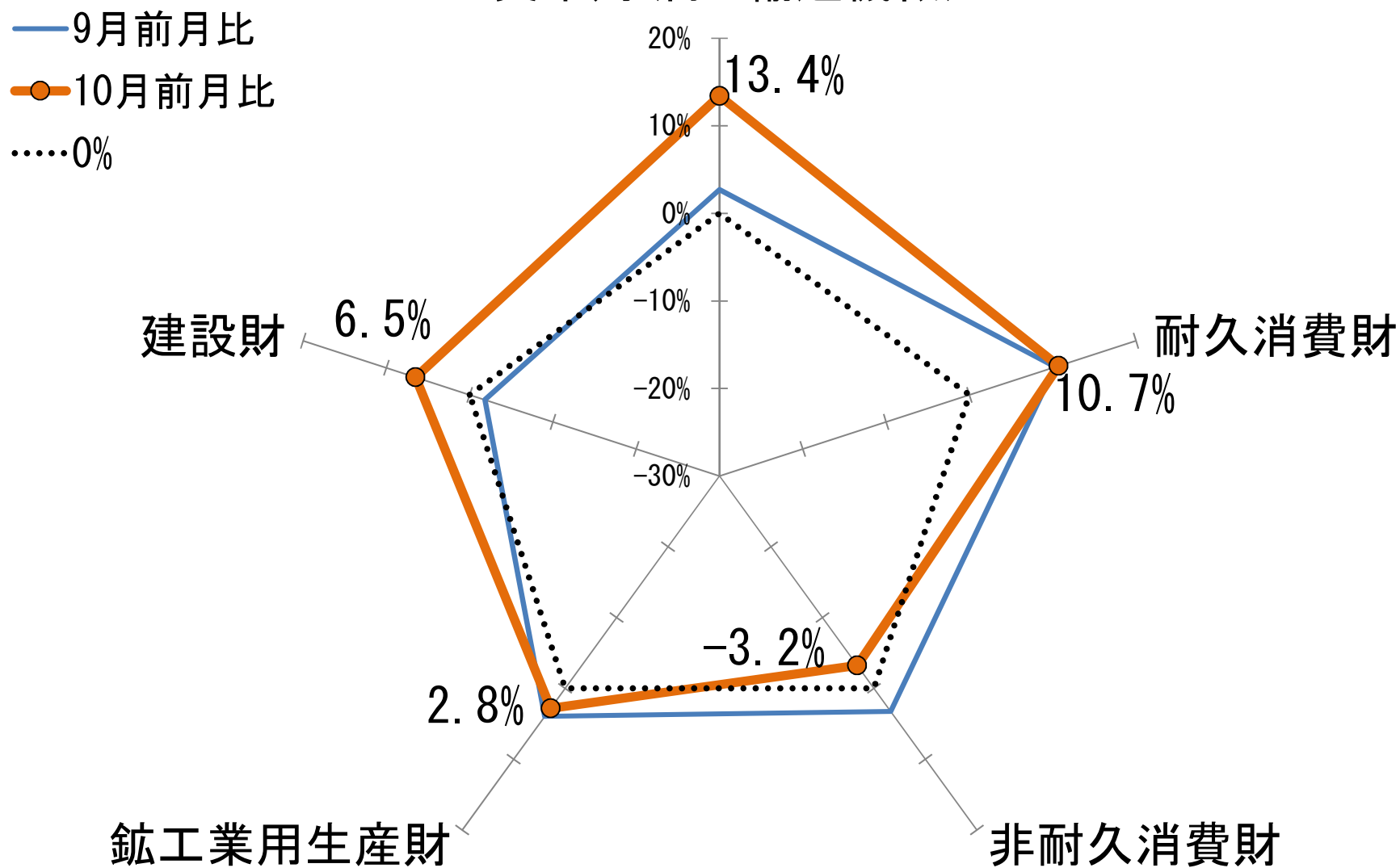
(2015年=100、季節調整済)

- 資本財(除. 輸送機械)
- - - 建設財
- - - 耐久消費財
- 非耐久消費財
- 生産財



財別出荷指数の前月比比較（2020年9月、2020年10月）

資本財(除. 輸送機械)



2020年10月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

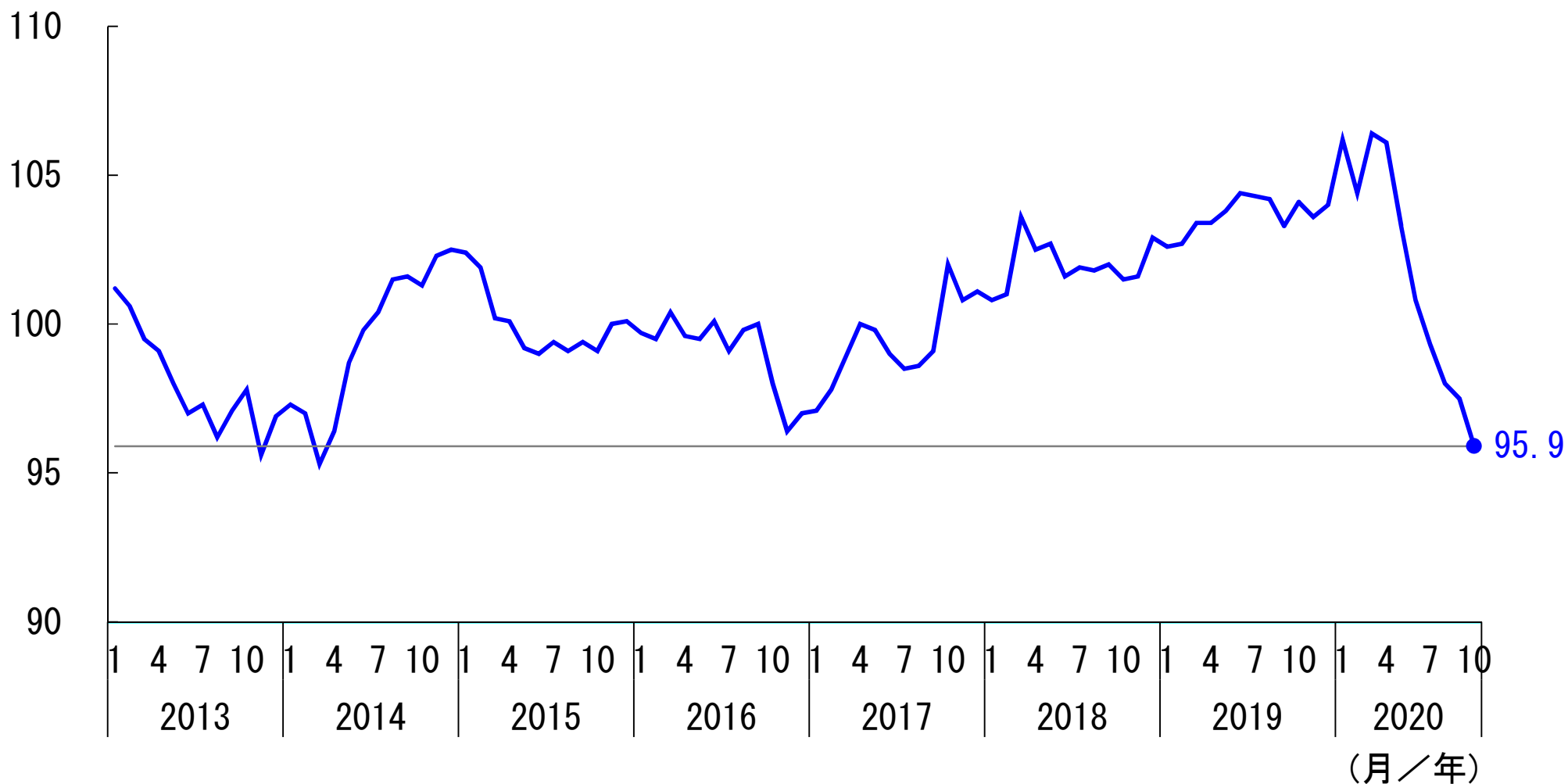
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	3.4%	38.6%
		特殊鋼熱間圧延鋼材	19.8%	3.2%
		軽油	11.4%	2.6%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	13.4%	30.8%
		コンベヤ	176.9%	6.1%
		ショベル系掘削機械	10.1%	2.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	10.7%	24.4%
		普通乗用車	11.2%	14.8%
		小型乗用車	12.9%	3.6%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	6.5%	7.5%
		セメント	11.0%	1.2%
		橋りょう	45.2%	1.1%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-3.2%	-12.2%
		合成洗剤	-8.9%	-0.6%
		柔軟仕上げ剤	-15.0%	-0.4%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

・ 2020年10月の在庫指数は、95.9(前月比-1.6%)と7か月連続の低下。

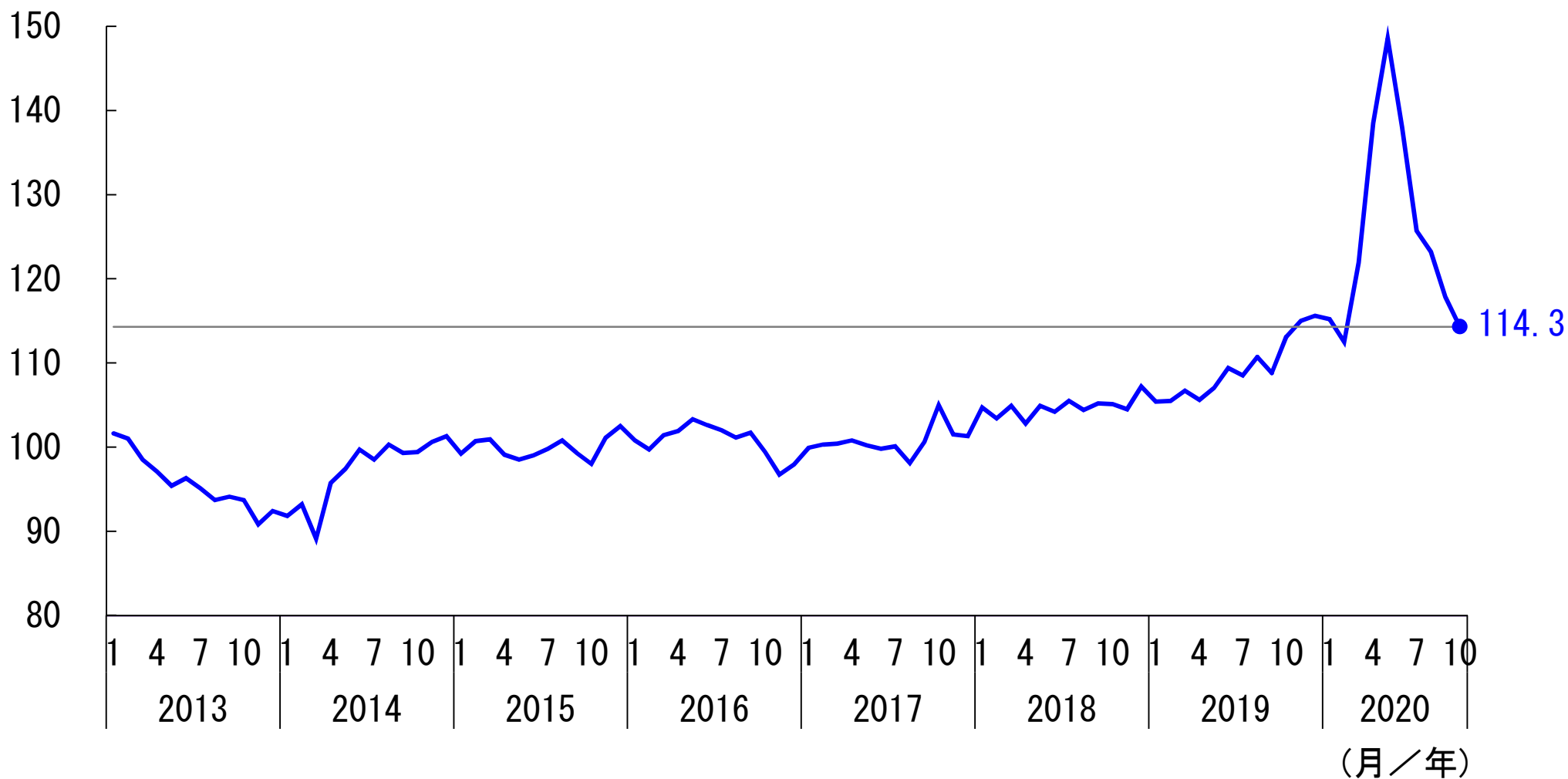
(2015年=100、季節調整済)



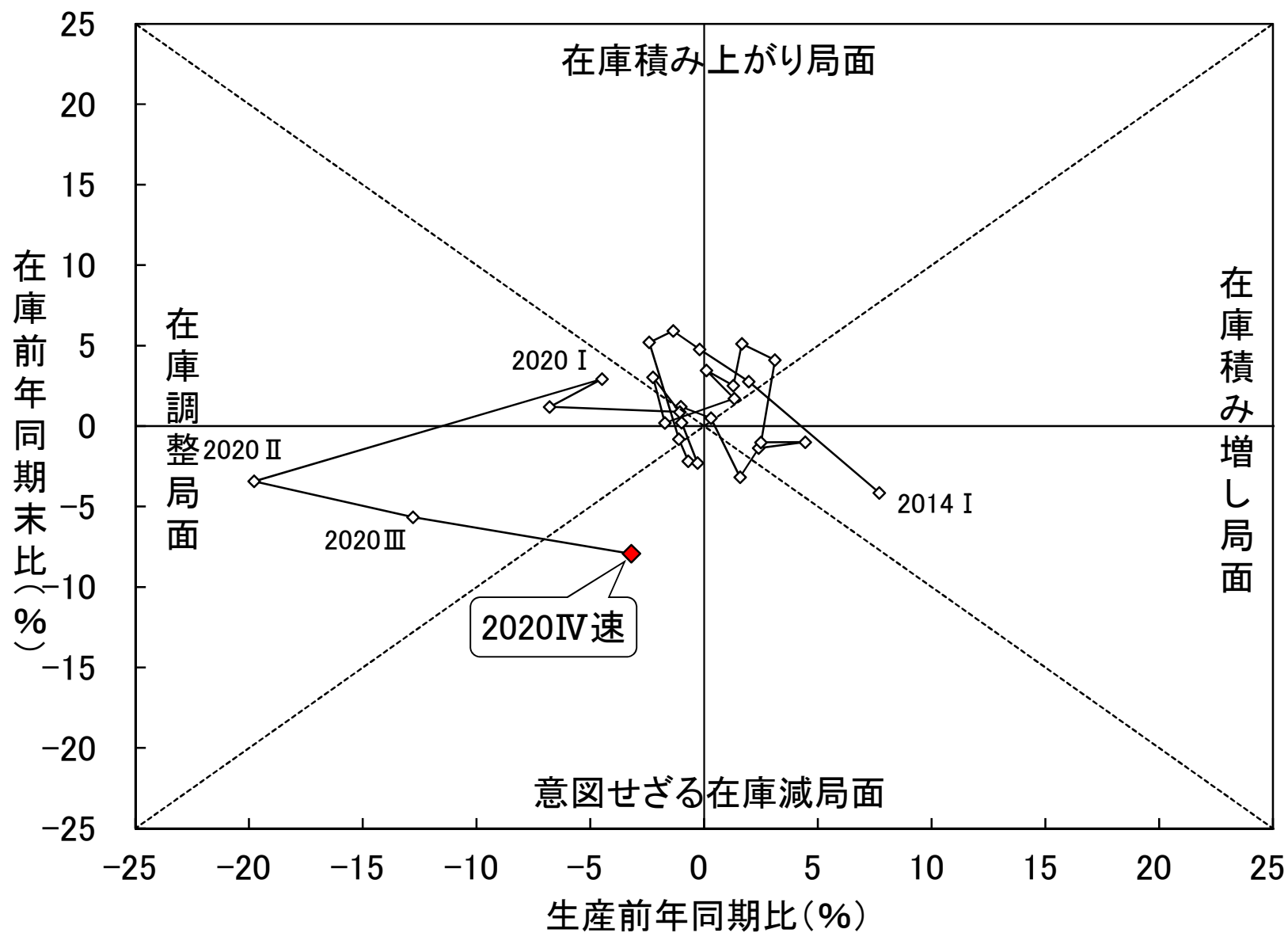
鉍工業在庫率指数の動向

・ 2020年10月の在庫率指数は、114.3(前月比-3.0%)と5か月連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)



鋁工業の在庫循環図



(注) 「2020IV速」の生産は10月の値、在庫は10月末の値を使用。

製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

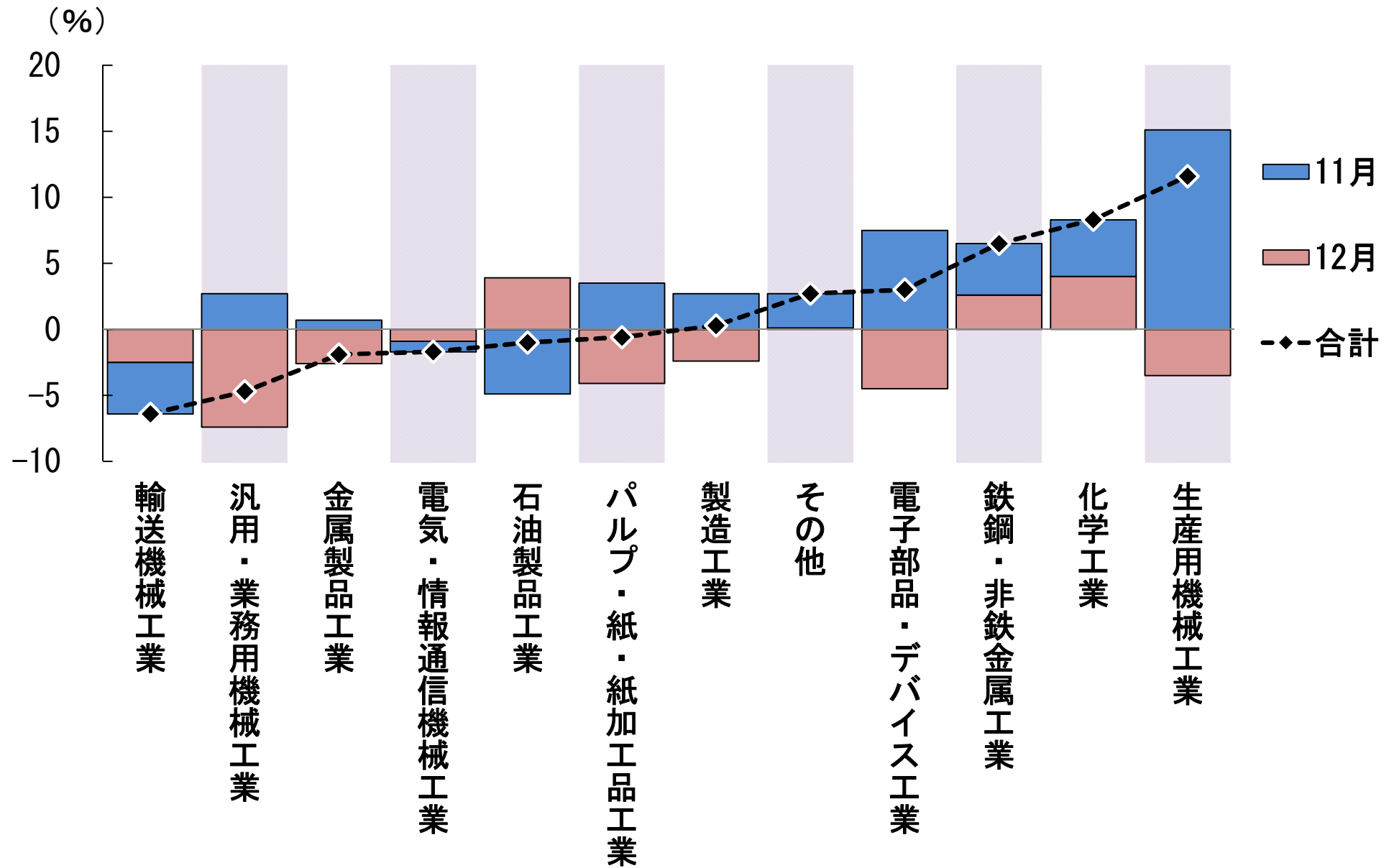
	2020年11月見込み	2020年12月見込み
2020年11月調査(今回)	2.7	-2.4
2020年10月調査(前回)	1.2	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
11月前月比	0.4 (-1.3~2.1)	2.7

（注）補正值欄の上段が、最も可能性の高い値（最頻値）。
最頻値とならない場合でも、過去の傾向では、（ ）の幅の中に90%の確率で収まる結果となっている。

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2020年11月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
生産用機械工業	15.1%
電子部品・デバイス工業	7.5%
化学工業	4.3%
汎用・業務用機械工業	2.7%
鉄鋼・非鉄金属工業	3.9%
その他	2.6%
パルプ・紙・紙加工品工業	3.5%

上昇寄与業種	計画前月比
金属製品工業	0.7%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-4.9%
電気・情報通信機械工業	-0.8%
輸送機械工業	-3.9%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年12月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
化学工業	4.0%
鉄鋼・非鉄金属工業	2.6%
石油製品工業	3.9%
その他	0.1%
低下寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	-4.1%
電気・情報通信機械工業	-0.9%

低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	-2.6%
電子部品・デバイス工業	-4.5%
生産用機械工業	-3.5%
輸送機械工業	-2.5%
汎用・業務用機械工業	-7.4%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年10月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直している」

基調判断の推移

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| ・2016年11月～2017年10月 | 「生産は持ち直しの動き」 |
| ・2017年11月、12月 | 「生産は持ち直している」 |
| ・2018年1月～6月 | 「生産は緩やかな持ち直し」 |
| ・2018年7月～9月 | 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」 |
| ・2018年10月～12月 | 「生産は緩やかな持ち直し」 |
| ・2019年1月、2月 | 「生産は足踏みをしている」 |
| ・2019年3月 | 「生産はこのところ弱含み」 |
| ・2019年4月～7月 | 「生産は一進一退」 |
| ・2019年8月、9月 | 「生産はこのところ弱含み」 |
| ・2019年10月～12月 | 「生産は弱含み」 |
| ・2020年1月、2月 | 「生産は一進一退ながら弱含み」 |
| ・2020年3月 | 「生産は低下している」 |
| ・2020年4月、5月 | 「生産は急速に低下している」 |
| ・2020年6月 | 「生産は下げ止まり、持ち直しの動き」 |
| ・2020年7月 | 「生産は持ち直しの動き」 |
| ・2020年8月～ | 「生産は持ち直している」 |